



報道関係各位

2019年9月吉日

“健康市民よこはま”公開講座
「ここまで来た！！前立腺がん放射線治療」
～前立腺がん治療、どの治療を選ぶのがよいか～
ご取材のご案内

【日時】 2019年10月6日(日) 13:00～15:00(12:30 受付開始)

【会場】 済生会横浜市東部病院 3階多目的ホール

拝啓 ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

社会福祉法人 恩賜財団 神奈川県済生会横浜市東部病院(神奈川県横浜市鶴見区、以下、当院)は、患者さんに寄り添った医療の実現を目指し、地域住民の方とともに健康とQOLについて一緒に考える取り組み「健康市民よこはま」の一環として、NPO 前立腺がん啓発推進実行委員会が行う前立腺がん週間(アメリカでは9月の第3週がキャンペーン期間であり、その時期にあわせて)期間中である2019年10月6日(日)に、公開講座「ここまで来た！！前立腺がん放射線治療 ～前立腺がん治療、どの治療を選ぶのがよいか～」を開催いたします。

前立腺がんは、中高年男性に多くみられ、男性のがん罹患数の中では、2018年の前立腺がんは78,400人で、4番目の罹患率となっております。また、死亡数は依然として減少しておらず、近年では男性がんの中で6番目の死亡数で、2018年には12,400人が前立腺がんで死亡したと報告されています。'

現在の前立腺がんに対する標準的な放射線治療では、治療期間が2ヶ月程度の長期にわたるため、患者さんの通院の負担が大きいと考えられています。一方で、近年治療期間を短縮する治療法が出現し、体幹部定位放射線治療(SBRT)や小線源療法などがあります。体幹部定位放射線治療では、通常の治療放射線照射をより強力に行うため、少ない照射回数で治療ができ、数週間程度での治療完了を目指すことができます。また、小線源療法は外から放射線をあてるのではなく、放射性物質を密封した密封小線源を前立腺内部に留置して前立腺の中から放射線を照射する治療法で、手術時間は約2時間、入院期間は3泊4日ですが、組織内で小線源による照射が1年間程度継続することで治療完了を目指すことが可能です。

今回は、日本の小線源治療の開拓者かつトップランナーである国立病院機構東京医療センター泌尿器科医長の齊藤史郎医師と、体幹部定位照射に積極的に取り組む当院の放射線治療科部長代理である江里口貴久医師を登壇者として迎え、最新テクノロジーを駆使した、体幹部定位放射線治療、小線源療法それぞれに第一線で取り組む立場から、それぞれの治療法の特徴、前立腺がん治療の最前線についてお話いたします。講演会終了後には来場メディア向けに登壇者への質疑応答の時間もご用意しております。

ご多忙中とは存じますが、ぜひともご取材を賜りたく、ご案内申し上げます。

敬具

1 出典:がんの統計'18:公益財団法人 がん研究振興財団

(https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/brochure/backnumber/2018.jp.html)

＜本件についてのお問い合わせ先＞

済生会横浜市東部病院 広報事務局((株)オズマピーアール内) 担当:有道、白石

TEL:03-4531-0212 FAX:03-6677-1000 Email:healthcare@ozma.co.jp



【開催概要】

■タイトル

“健康市民よこはま”公開講座
「ここまで来た！！前立腺がん放射線治療」
～前立腺がん治療、どの治療を選ぶのがよいか～

■日時

2019年10月6日(日) 13:00～15:00(12:30 受付開始)

■会場

済生会横浜市東部病院 3階多目的ホール

■進行(予定)

12:30～ 開場
13:00～13:20 第一部「前立腺癌に対する体幹部定位照射」
当院放射線治療科部長代理 江里口貴久 医師
13:20～14:00 第二部「前立腺癌に対する小線源治療」
国立病院機構東京医療センター泌尿器科医長 齊藤史郎 医師
14:00～14:10 質疑応答(一般参加者向け)
14:10～14:30 質疑応答(メディア向け)
※同日 13:00～15:00 にて PSA 検診(事前予約制・無料)も実施いたします。

■アクセス

社会福祉法人 恩賜財団 神奈川県済生会横浜市東部病院
〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉 3-6-1



＜交通のご案内＞

■車の場合

東京方面から:首都高速道路「浜川崎IC」または「汐入IC」出口をご利用ください。

横浜方面から:「岸谷生麦IC」または「子安IC」出口をご利用ください。

※上記 IC いずれからでも当院まで約15分。「新鶴見橋西側」交差点をお入りください。



【登壇者紹介】

国立病院機構東京医療センター 泌尿器科医長

齊藤 史郎(さいとう しろう)

慶應義塾大 1982 年卒

専門分野

前立腺癌診断・治療、尿路悪性腫瘍治療

学会専門医・認定医

日本泌尿器科学会専門医・指導医

日本癌治療認定医 泌尿器腹腔鏡技術認定医

済生会横浜市東部病院・放射線治療科 部長代理

江里口 貴久(えりぐち たかひさ)

慶應義塾大 2008 年卒

専門分野

放射線治療

学会専門医・認定医

日本医学放射線学会 放射線治療専門医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

【放射線治療科】



放射線治療は肉体的な負担が少なく、機能・形態の温存を可能とする優れた治療法です。当科では肺癌、乳癌、前立腺癌などあらゆる悪性腫瘍を多肢にわたって治療しています。がんの根治的治療のみならず、骨転移による疼痛の除去等の緩和的治療も積極的に行っています。また、他科と連携して、化学療法と併用した放射線治療や、手術前・手術後の放射線治療など、患者さん一人ひとりに合った治療を行っています。

【済生会横浜市東部病院について】



当院は平成 19 年 3 月 30 日に開院しました。横浜市東部地域の中核病院として「医療を通じて生命(いのち)を守る」という理念のもと、常に一步先の急性期医療の提供を目指し、国が示す 5 疾病・5 事業の推進、並びに近隣の病院、診療所及び介護・福祉施設との連携体制の強化による、地域完結型医療の構築に努めております。救命救急センターを併設し、小児科救急、精神科救急を含む救急医療に積極的に取り組み、災害時には災害拠点病院としての機能を果たします。がん、心疾患、脳血管疾患等に対する高度専門医療についても、最新鋭の医療機器を導入するなど一層充実させてまいります。また、現場を離れている潜在看護師の復職支援など地域貢献にも積極的に取り組んでおります。²



済生会横浜市東部病院 広報事務局((株)オズマピーアール内)行

FAX:03-6677-1000

“健康市民よこはま”公開講座
「ここまで来た！！前立腺がん放射線治療」
～前立腺がん治療、どの治療を選ぶのがよいか～
ご取材のご案内

【日時】 2019年10月6日(日) 13:00～15:00(12:30 受付開始)

【会場】 済生会横浜市東部病院 3階多目的ホール

お手数ですが10月4日(金)までにFAXにてご返信ください。

ご出席 / ご欠席

貴社名	
ご所属	
ご芳名	(他名)
カメラ	<input type="checkbox"/> 有(スチール / ENG) <input type="checkbox"/> 無
TEL	
FAX	
E-MAIL	
通信欄	

※ご記入いただいた個人情報は、お申し込みの受付や資料の送付、当日の運営、ならびに今後の同種イベントのご案内の目的で利用させていただき、それ以外の目的で利用しません。